

## 議員定数等検討会議

平成23年春に実施される三重県議会議員選挙の議員定数および選挙区の在り方についての協議、調整を行うことを目的に、議員定数等検討会議を本年6月に設置しました。

現在、選挙区の定数、一票の格差、地勢・交通などの事情などの課題について、調査、検討を進めています。

## 第3回紀伊半島三県議会交流会議

7月24日、熊野市において、紀伊半島三県(三重県、奈良県、和歌山県)議会による、第3回紀伊半島三県議会交流会議を開催しました。

会議では、紀伊半島三県議会の議員が会し、紀伊半島の振興および発展に資するため、各県が直面している道路整備、観光振興等の共通課題について意見交換を行い、紀伊半島各県議会議員の連携・交流を図りました。

また、紀伊半島地域の道路整備の推進にかかる国への要望書の提出について、三県で合意しました。

## 「2009年版県政報告書」に基づく今後の「県政運営」等に関する申し入れ

7月31日、予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員会から知事に対し、「2009年版県政報告書」に基づく今後の「県政運営」等に関して次のとおり申し入れを行いました。

### ①「県民しあわせプラン」の三つの社会像の実現に向けた取り組みの推進

・緊急的な雇用・経済対策の効果について、常に把握や検証に取り組み、貴重な公費の投入に見合った最大の雇用・経済効果があがるよう努めていくこと

・県立病院改革に関する考え方(案)について、地域の県民の安心の観点から、県民や県議会の意見を踏まえたうえで、県立病院改革の議論を深めていくこと

・絆社会の形成という面で、国内外からたくさんの方の集客のあるイベントなどを、本県の愛すべきところを再認識し、郷土を誇りに思う「みえけん愛」を育むよい機会とすること

### ②重点的な取り組みおよび施策の達成状況について

県政報告書は、県政に関する情報共有のツールであるため、県民にとってわかりやすく、県政執行の結果が実感できるものとなるよう改善に取り組むこと

### ③平成22年度予算編成に向けて

厳しい財政状況の中、徹底した事業の見直しや行政経営の改善などにより財源を確保し、「県民しあわせプラン」第二次戦略計画」の各取り組み、各施策の目的・目標を実現させていくこと

## インターンシップ実習生受け入れの試行

三重県議会における政策立案の充実、学生のキャリア形成の支援、地方分権の推進に資する実践的能力を有する人材の育成などを目的として、9月7日から9月18日まで、京都大学公共政策大学院の学生2名をインターンシップ実習生として受け入れました。

実習生には、議員提出条例に係る検証検討会における調査や資料案の作成、議員との打ち合わせへの参加、検討会の運営補佐などの議会事務局における実務を経験していただきました。終始熱心な取り組みぶりでした。

今後の受け入れの実施については、今回の試行の検証を踏まえ、検討してまいります。



正副議長に抱負を述べる実習生

## わかりやすく身近な県議会をめざして

県民の皆さまに県議会の活動をより身近に感じていただくため、県議会の広聴広報機能の充実を図ることを目的に広聴広報会議を設置し、議会だよりをはじめとする県議会の広報について、協議をしています。

広聴広報会議では、よりわかりやすい議会広報にするため、(株)メディアブレイン代表取締役の吉村潔氏を講師にお招きし、「議会広報を考える」をテーマに勉強会を行いました。

この議会だよりについても、県民に分かりやすい表現、デザイン・レイアウトなどについてアドバイスをいただきました。

今後もホームページなどさまざまな議会広報について、適宜専門家の意見を取り入れながら、よりよい議会広報に努めていきます。



勉強会の様子